

第22号

編集・発行
高島新政クラブ
高島市新旭町
北畑565番地

高島市議会

高島新政クラブだより

平成22年度 12月補正予算の概要

概要

今議会への補正予算は、現下の厳しい財政状況の中ではありますが、財源確保に鋭意努められており、特に財源の見通しが立った事業について、必要な経費が追加されたものです。

このたびの補正予算規模は 14 億 8,700 万円の増額で、そのうち約 7 割強が、高島総合病院の整備事業に係るものであります。

JR 近江高島駅のバリアフリー化事業が、国の補助事業として実施されることとなり、設置者である JR 西日本への補助金が計上されています。

さらに、国の補正予算等の動向をしっかりと見極め、子ども達の命と健康を守る「子宮頸がんワクチン」や「ヒブワクチン」、「小児用肺炎球菌ワクチン」の予防接種事業を、全額公費負担で、いち早く実施する経費や、獣害対策経費など、必要な財源を確保し、追加計上されています。

提案された全ての事業は、市民生活や福祉の向上に資する必要な経費と認め、これらの事業の成果を大いに期待して、高島新政クラブは賛成いたしました。

1 歳入歳出補正予算

単位：千円

区 分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
一般会計	26,643,000	1,487,000	28,130,000
特別会計	13,371,407	106,663	13,478,070
事業会計	7,746,956	△64,715	7,682,241
予算総額	47,761,363	1,528,948	49,290,311

2 一般会計歳入予算の主な内訳

単位：千円

地方交付税	200,000
国庫支出金	37,815
県支出金	1,056,366
繰入金	88,537
諸収入	27,412
市債	68,500

3 12月補正予算の主なもの（一般会計）

1. 人件費 Δ 89,482千円

給与改定（期末勤勉手当減額）による人件費減

2. 病院建設準備基金積立金 964,898千円

建設を進めている高島市民病院（平成 24 年度開院時に使用）の財源として積み立てる。

3. 鉄道駅バリアフリー化事業化補助金 132,000千円

病院開院時に間に合うよう要望していた、近江高島駅のエレベーター設置は、事業を実施して頂く JR 西日本(株)に市負担部分を補助金として支出。
全体事業費 198,000 千円、市補助金 (2/3) 132,000 千円、(国庫補助金 (1/3) 66,000 千円)



4. 障害福祉サービス事業 65,232千円

障害児(者)の介護など自立に向けたサービス増に対応する。

5. 予防接種事業 49,271千円

乳幼児(0才～4才)の「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」および中学 1 年生から高校 1 年生の女子の「子宮頸がんワクチン」接種を無料で実施する。
※「ヒブワクチン」とは？インフルエンザ菌 b 型のこと。



公共施設の指定管理者の候補者選定の議論について

高島市では、運動公園や市民会館など79の公共施設を指定管理者に委託（公募56、非公募23）しており、指定期間は5年間で期間終了毎に指定管理者の更新を行っています。12月議会では、23年3月に指定期間が切れる16施設の指定管理者の指定を23年4月から5年間行う内容の議案が提案されました。

その中で、「高島市道の施設藤樹の里あどがわ」が評価2番目のオオヤマホールディング(株)に、「高島市ガリバー青少年旅行村」が評価3番目の(株)マックアースリゾートに、指定候補者として提案されたことに対して慎重審議いたしました。

市の資料によると、オオヤマホールディング(株)は、利用者の増大を図るための「旅行者への営業活動」や、「タイムバーゲン」、「サマータイム導入」や「年中無休での営業」、「ふれあい広場での活動」など民間発想の新たな事業提案が示され、更なる施設の賑わいと地域産業の活性化が期待でき、市への納付金は5年間で5千2百万円余りが提案されています。(株)マックアースリゾートは、事業者が持つ野外活動ノウハウや旅行会社とのパイプを生かした「森の体験プログラム」、「ツリークライミング体験活動」、「ネイチャースクールの開設」など施設を最大限活用する斬新な提案が示され、また、スキー場との効率的な人員配置も事業展開に期待できる内容となっています。

去る9月議会に提案された「高島市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例」(案)について継続審議となりましたが、高島新政クラブでは、一部修正案を提案し賛成多数で可決されました。その経過および内容は、次の通りです。

高島市駅前駐車場有料化について

1、安曇川駅前第4・第5駐車場について、月額4,000円の有料駐車場に変更する。
2、同時に、今年4月1日より月額5,000円でスタートした今津駅前第1駐車場の月額を安曇川駅前に統一して月額4,000円とする。
3、実施時期は、平成22年11月1日からとする。

でしたが、次の課題から12月議会まで継続して審査してきたところです。

■課題
1、JRの便数、乗降客が少ないマキノ駅・近江中庄駅をのぞく、市内各駅前の市営駐車場の全体計画が不明確である。
2、一時駐車場が必要と考えるが、執行部提案では示されていない。
3、今津駅前第1駐車場の月額変更は、開設して時期が浅いことと全体計画の中で統一が望ましい。

よりきめ細かく市民の皆様への市政報告やご意見をお聞かせ頂く為地区別懇談会を開催させて頂きました。

- 懇談会をさせて頂いた地区
中庄区 新保区 宮西区
西浜区 海津1区
海津2区 海津3区
麻生区 角川区 鶴川区
- 主な御意見 多くの御意見の抜粋です
 - 湖西線近江舞子以北の早期整備が必要である。
 - 新快速を朝・夕の通勤時刻に合わせた増便が必要。
 - 中庄駅にもバリアフリー化の整備が必要である。
 - 小松広幅の現状について。
 - 湖北バイパス工事の早期着工を。
 - 国道303号歩道設置の早期着工を。
 - 道路で蛭口・大沼線は計画中であるが中断。買収済みの箇所は早期着工を。
 - 米価下落で耕作者が減少化傾向の中、マキノ地区はアグリ等委託先がない。
 - 集落営農を中心とする法人化への指導をしていただきたい。
 - TPPの動向と今後の農業政策はどうか。
 - 市より区長への情報提供がないので、災害時の対応が出来ない。
 - マキノ工業団地の有効利用（撤去跡地の活用）。
 - ダムは地元との協定はあるが意味がない。方向性を示してほしい。
 - 今津地区の駐車場が有料になり、自由に置けなくなった。一時預かりの対策を。
 - 集落要望事項の現地確認は集落の区長等と一緒にすること。
 - 一級河川、普通河川の整備を。

